

## 外出時は「ポケットにマスクを」 尾身茂会長、マスク緩和後も

2023/02/10 毎日新聞

外出する時は「ちょっとめんどくさいけど、ポケットにマスクを入れて」――。政府の新型コロナウイルス感染症対策を議論する基本的対処方針分科会の尾身茂会長は10日に記者会見し、マスク着用ルールが緩和された後も、混雑した場所などに備えてマスクを持ち歩くことが望ましい、との考えを示した。

同日の分科会では、3月13日からマスク着用を原則個人の判断としつつも、医療機関や混雑したバス、電車では着用を推奨する政府方針を了承した。

分科会後に記者会見した尾身氏はマスクの感染防止効果を踏まえて「不特定多数の人がいて、換気が悪くて、密になるような場合は、これからもマスクを着けることを考えてもいい」と指摘した。

特に電車やバスには高齢者や重い持病がある人が乗っている可能性があることから「ちょっとめんどくさいけど、ポケットにマスクを入れて、外を歩いたら外して外気を吸う。電車に乗るときは着けることが求められる。これが専門家の共通認識だ」と述べた。

一方で、その他にどの場面でマスク着用が必要かについては「100万の場面がある。国や専門家がいちいちの場面について、箸の上げ下げまで指示することは、この時代にはふさわしくない」と述べ、細かく言及することを避けた。【原田啓之】

## 卒業式、全学校でマスクなしが基本 宮城県教委・仙台市教委が通知

2023. 2. 16 朝日新聞

宮城県教委と仙台市教委は、小中高や幼稚園、特別支援学校など全学校の卒業式で、児童



生徒や教職員がマスクを外すことを基本とする通知を出した。文部科学省方針に沿ったもので、マスクの着脱を「強制はしない」としている。

県教委は13日付で全県立学校と市町村教委に、仙台市教委は15日付で全市立学校に通知した。

通知は、児童生徒や教職員に対し、式辞や卒業証書授与などではマスクを外すことが基本だが「強制はしない」とした。

一方、保護者や来賓にはマスク着用を求め、児童生徒も合唱する時にはマスク着用など感染対策をとるよう求める。

仙台市教委は卒業式の出席者についてすでに方針を示しており、保護者は「1家庭2人まで」としている。

国は5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる。来月13日からは屋内外を問わずマスクの着用は個人の判断に委ねられる。これを受けて文科省は、卒業式について「マスクを外すことを基本」と通知している。

仙台市内の多くの小中学校では3月10～17日ごろに卒業式が開かれる予定だ。(福岡龍一郎)